

かながわ福祉大学校の開講に向けた公開講座

参加費無料

自治体DXが 社会を変える！

対象者：自治体職員・地方議員・団体職員

10.30

14:00-16:30 水

定員：30名

社会のデジタル革命が進展する中で、自治体の現場でも、住民の利便性向上や、政策効果を一層高める様々な取り組みが進められています。

今回の公開講座では、令和7年度開校予定の「かながわ福祉大学校」での学びを体感していただくため、横浜市からはE B P Mをはじめとしたデータ活用の取組を、横須賀市からは生成AIを活用した事例を発表いただくとともに、今後の自治体DXが地域社会にどのような変化をもたらすか、参加者の皆さんと一緒に考えます。

◆ 登壇講師の紹介

おおやま こうへい
大山紘平氏



横浜市政策経営局データ経営課担当課長
(デジタル統括本部企画調整課担当課長兼務)

横浜市役所入庁後、主に医療分野のビッグデータ分析、啓発等の企画立案から実行までを担当
2023年から全庁のデータ利活用を推進
横浜市立大学大学院データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻共同研究員
横浜市行動デザインチーム(有志)「YBiT」共同発起人



おおた こうへい
太田耕平氏



横須賀市経営企画部デジタルガバメント推進室室長

民間企業から横須賀市役所に転職後、都市部・市民部・財政部を経て2019年に市役所内のシンクタンク組織である都市政策研究所(現 都市戦略課)で市基本構想・基本計画(YOKOSUKAビジョン2030)・実施計画の策定を担当
2022年にスマートシティ事業 立上げを担当
2023年にデジタルガバメント推進室に異動
2024年4月より現職

主催



公益社団法人
かながわ福祉サービス振興会
Kanagawa Welfare Service Association

協力



神奈川大学
KANAGAWA UNIVERSITY

◆ファシリテーター うめざわ あつや
梅澤厚也



公益社団法人かながわ福祉サービス振興会専務理事・事務局長

2022年4月より現職、以前の横浜市職員在任中、都市計画局で市内中核駅周辺開発事業、健康福祉局で介護保険制度関連業務等に従事し、厚生労働省出向、西区区政推進課長を経て政策局で公民連携を推進する共創推進室長等を歴任
一般社団法人かながわ高齢者住まい連絡協議会会長
認定NPO法人市民セクターよこはま監事

◆プログラム

・開催挨拶、講師紹介

・横浜市のエビデンスベース政策（Evidence-Based Policy-Making）の推進、データ活用について

講師：大山紘平氏 横浜市政策経営局データ経営課担当課長（デジタル統括本部企画調整課担当課長兼務）

・横須賀市における生成AIの活用について

講師：太田耕平氏 横須賀市経営企画部デジタルガバメント推進室室長

・トークセッション

「テーマ：なぜ今、自治体DX・データ活用が求められているのか」

・かながわ福祉大学校のご案内

・質疑応答、閉会挨拶

◆申込期間

令和6年10月20日（日）17時まで

※定員になり次第、締め切る可能性がありますのでご了承ください。

※申込締切以降に、参加者にご案内のメールをお送りする予定です。

◆会場（校舎）

神奈川大学みなとみらいキャンパス

横浜市西区みなとみらい 4-5-3
2階KUポートスクエア

- ・「みなとみらい駅」下車徒歩約6分
- ・「新高島駅」下車徒歩約4分
- ・「横浜駅」下車徒歩約11分
- ・「桜木町駅」下車徒歩約12分

◆お問い合わせ



かながわ福祉大学校運営事務局

kw-academy@kanafuku.jp

◆申込方法

電子申請とします。
以下の二次元コードまたはURLより、
お申込みください。



<https://forms.gle/AQYfCYokGDPu1qdF7>



※行政間で使用する「lg」メールは、セキュリティ上の問題で返信メールが届かない恐れがありますので、別のメールアドレスをご使用ください。